

Training Course

製造現場のためのリーダーシップの基礎

Leadership Essentials for Production Workers

このコースでは、マインドセットから周囲との関わり方まで、現場で求められるリーダーシップを幅広く学び、日々の業務での行動指針を身につけます。

リーダーシップの考え方

Lesson 1

自分の仕事への向き合い方そのものが、リーダーシップの出発点です。

① 視野を広く持つ

自らの作業やタスクに捉われず、チームや現場全体を見渡します。自らの業務が前後工程に与える影響を客観的に捉えることで、適切な優先順位の判断や、円滑な連携が生まれます。

② 解決志向を持つ

現場でのトラブルや不測の事態に対して、「どうすれば解決できるか」を常に考え、行動します。前向きな姿勢は現場に良い空気を生み、チーム全体の働きやすさにつながります。

③ 周囲への好影響

個人の前向きな意識と行動の積み重ねこそが、安定した現場運営と良好なチームワークを築く大きな力となります。



主体性と責任感

Lesson 2

自発的な行動と当事者意識が、現場を支え、周囲からの信頼につながります。

⚡ 主体的に動く

機械の異常や課題に気づいた際、誰かの対応を待つのではなく、自分から情報共有をしたり解決に向けて最初の一步を踏み出します。

🛡️ 責任感を持って行動する

与えられた役割を最後まで誠実に完遂します。必要な確認を怠らず、日々の整理整頓といった小さな作業にも妥協せずに当事者意識を持って向き合います。



自分自身の振る舞いや接し方が、現場全体の規律とチームワークを大きく動かします。



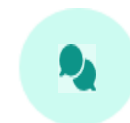
冷静な対応

忙しい場面や想定外のトラブルが起きたときこそ、焦らず落ち着いて動くことで、現場に不要な緊張を広げず安心感を与えられます。



基本の丁寧な徹底

時間厳守や安全確認の徹底など、基本をおろそかにしない姿勢を示します。「これくらいならいいや」という緩みを防ぎ、規律を守ります。



丁寧なコミュニケーション

元気な挨拶、声かけ、迅速な情報共有を徹底します。お互いに相談・支え合える健康的なチーム文化を構築するための基盤となります。

フィードバックの基本

Lesson 4

双方向のコミュニケーションが、安全性向上と確固たる信頼関係を築きます。

1 伝える際の姿勢 (発信)

➡ 簡潔・丁寧・率直に

事実を歪めず明確に伝えます。

例: 「このパレットは積載超過で転倒の危険があります。箱を減らしてください」

➡ 良かった点も共有する

改善点だけでなく成果も率直に認めることで、本人の意欲を育みます。

2 受け取る際の姿勢 (受信)

➡ 耳を傾け、まず聞く

遮らずに相手の言い分を最後まで確認します。

➡ 自己防衛を避ける

言い訳や保身に走らず、客観的な指摘として真摯に受け止め、業務の改善へ反映します。

「事実」に注目する

ミスや課題が起きたとき、感情を排して解決に取り組みます。

⚠ 人を責めず、状況を解きほぐす

機械設定ミスによる不良品発生などの際、「あなたの確認不足だ」と相手の人間性を責めると、防衛的になり原因の究明が進みません。

⚖ 客観的事実の共有

「今回は安全確認の手順が未実施のまま機械が稼働していた」と、客観的事実をベースに冷静に確認します。これにより再発防止の具体的な対話が始まります。

認識のすれ違いへの対処

認識の不一致が起きたとき、相手を評価せず事実に着目して対話を進めます。

検討項目	避けるべき対応 (NG)	リーダーシップのある対応 (OK)
相手への態度	× 相手のやり方が間違っていると最初から決めつける	✓ 相手がどう認識していたか話を遮らずに聞く
自己への捉え方	× 「自分がすべて悪かった」と過剰に責任を背負い込む	✓ 人の責任にせず、客観的な事実のみを整理して捉える
これからの仕組み	×の場のトラブル解消だけで終わらせ、放置する	✓ 認識を確認・共有するための時期や手順を具体的に決める

変化への柔軟な状況判断

Lesson 7

「いつも通り」のやり方にこだわらず、現場全体の流れを見て判断します。



今の動きを疑う

生産量の急増などの変化に対して、従来のやり方のままで確認不足や処理遅れが生じていないか常に自問自答します。



迅速な共有・相談

変化やトラブルに気づいた場合、指示を待つだけではなく、状況を自ら素早く周囲へ共有し、協力を仰ぎます。



全体最適な優先判断

トラブル時には生産スピードよりも安全確認を優先するなど、前後工程への影響を踏まえた柔軟な優先順位づけを行います。

日常からの現場改善

「もっと良くできないか」という意識が現場の安全と効率を高めます。

🔍 小さな気づきを放置しない

「工具が見つけにくい」「動線に無駄がある」といった日常的な些細な不便に対し、「そういうものだ」と諦めずに工夫の種を探します。

👥 周囲と協調する改善

「使ったものは必ず元の位置に戻す」といった自分にできる工夫から始めつつ、全体に関わる課題は周囲と相談して最適化します。



Summary

現場全体を、より良い状態へ。

リーダーシップとは、特別な立場や肩書を持つ人だけのものではありません。

日々、周囲の状況を気に向け、トラブルに冷静に対処し、事実に基づいて話し合い、そして日頃から改善の目を持つこと。

その一人ひとりの「小さな行動」の積み重ねが、安全で、働きやすく、前向きな現場の土台を創り上げていきます。

ぜひ、本日の学びを日々の輝く一歩へとつなげてください。

ご清聴ありがとうございました